

(4) 第一回鹿野地域振興会議に於ける委員提案議題

提案者 廣田 敬祐

② 鳥取市が回収する家庭ごみの回収頻度の変更提案

1. 変更提案のごみ区分の現行と変更案

資源ごみ・・・・・・・・・・週1回 →月2回
プラスチックごみ・・・・週1回 →月2回
小型破碎ごみ・・・・・・・・週1回 →月2回

2. 変更するメリット

回収業者に支払い委託費用の削減

3. 課題

家庭で毎週1回ごみ出しをしていたのが、隔週になるので、各家庭で保管期間が増えるが、平均的な家庭では問題ないと思慮する。

本件は鳥取市全体でご検討をお願いしたいので、鳥取市の然るべき部署に提言・検討をお願いしたい。

以上

平成26年度不燃物等収集実績^{資料}(4)-②

(単位：t)

収集地区	人口(人)	可燃ごみ	プラスチック	小型破碎ごみ	資源ごみ
鳥取市西地域	19,439	2,709.17	201.15	147.35	176.86
鹿野町	3,939	548.97	40.76	29.86	35.84
気高町	8,965	1,249.43	92.77	67.96	81.57
青谷町	6,535	910.77	67.62	49.54	59.46
日平均(西地域)		26.30	3.95	2.95	3.54

※人口は平成27年3月31日現在の住民登録より

※各町の収集量は西地域収集分を人口按分した数値

- ごみ収集業務に係る委託料は、収集量に対して必要となる車輛の経費、運転手、収集作業員の人件費等が主なものとなります。現状の排出量のままで収集回数を減じると、1日当たりの収集量が増え、現在の収集車の台数、作業人員では対応できなくなるなどの懸念があります。

- ・ 収集時間の増(1日で終わらない)
- ・ 処分場の1日の処理量を超える可能性あり(運転経費の増)
- ・ 許容量を超えるステーションの発生

一人ひとりが大量消費・大量廃棄という今のライフスタイルを転換

～3R運動の展開～

1. リデュース(Reduce: 排出抑制)
2. リユース(Reuse: 再使用)
3. リサイクル(Recycle: 再資源化)

【参考(H28.4 1日当たり収集量を平準化するための曜日の見直し)】

現在の収集曜日・地区での曜日ごとの可燃物平均運搬量(2014年度参考)

月宝・瑞・鹿	月曜日	約 11,700 kg
	火曜日	約 20,100 kg
火金	木曜日	約 7,600 kg
浜・逢・青	金曜日	約 14,200 kg



青谷と鹿野の収集曜日を変更した場合の平均運搬量(2014年度参考)

	月曜日	約 16,600 kg	月宝・瑞・青
	火曜日	約 14,500 kg	
	木曜日	約 11,500 kg	火金
	金曜日	約 10,800 kg	浜・逢・鹿

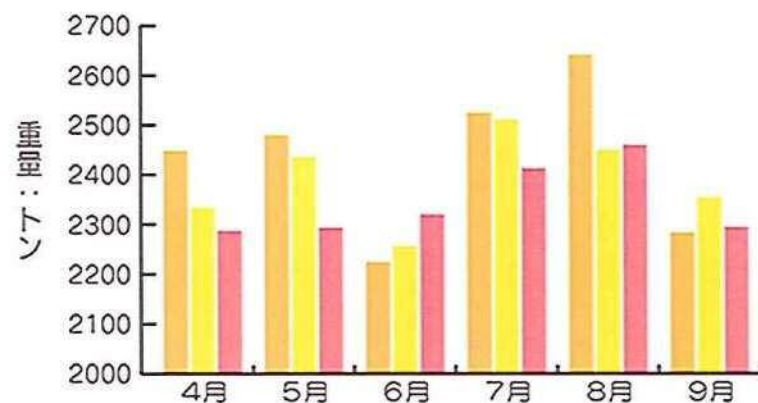
平成27年度上半期(4月～9月実績)の家庭ごみ排出量をお知らせします

本庁舎生活環境課

0857-20-3217 0857-20-3045

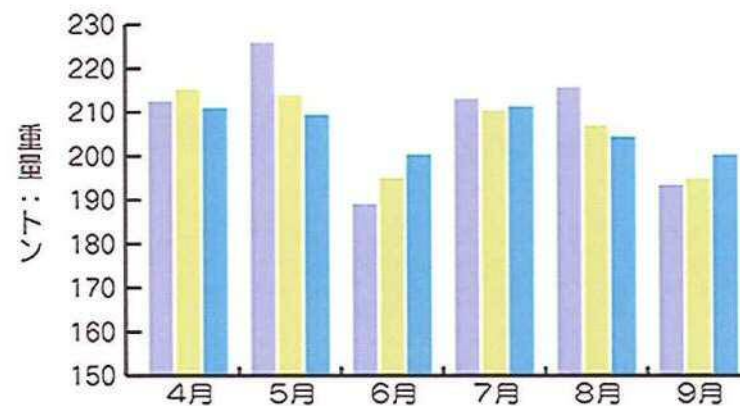
《家庭ごみ(可燃・プラスチック)上半期(4月から9月)排出量》

可燃ごみ排出量実績(家庭系)



上半期合計	
平成25年度	14603.97トン
平成26年度	14341.88トン
平成27年度	14071.97トン

プラスチックごみ排出量実績(家庭系)



上半期合計	
平成25年度	1249.95トン
平成26年度	1236.48トン
平成27年度	1237.06トン

本市の平成27年度4月から9月までに家庭から出された可燃ごみは前年度から約270tの減量、プラスチックごみは前年並みとなっています。引き続き、本市のさらなるごみの減量にご協力ください。